

令和8年度後期161 英語コミュニケーション I (1)

- 1 使用教科書「All Aboard! English Communication I Revised」(東京書籍)
- 2 使用学習書「All Aboard! English Communication I Revised」(NHK出版)
- 3 使用教室 406教室
- 4 提出期限・面接指導等

No.	提出期限	学習内容	高校講座	教科書ページ	学習書ページ	面接指導実施日				
1	10月14日(水)	Lesson 3	8~10	34~43	32~39	9/17木	9/24木	10/4日	10/4日	10/5日
2	11月18日(水)	Lesson 4	11~16	44~55	40~47	10/19月	11/1日	11/8日	11/16月	
3	12月16日(水)	Le5 文法まとめ2 R1	17~20	56~73	48~59	11/26木	11/26木	11/29日	11/30月	12/14月

※高校講座・・・NHK高校講座関連番号

(注)1日に2時間授業があるとき(網掛け部分)は、同一内容のため、どちらか1時間しか出席できません。

5 面接指導出席時の注意

- ① 開始時刻に遅れて入室した場合、出席は認められません。
- ② 面接指導や校内でのルール、教員の指示を守れない場合、出席は認められません。
- ③ 携帯電話等の使用や私語、飲食等はできません。
- ④ 居眠りやレポート作成などの行為があった場合、出席は認められません。

6 レポートについて

- ① 教科書・学習書・プリント等をよく見て自分で考えて解いてください。他の生徒のレポートを写すことや、他人にレポートを完成させること(代筆)は厳禁です。再提出または不合格など厳しい指導があります。
- ② 期限までに提出してください。面接指導に積極的に出席し、レポート作成の参考にしましょう。
- ③ 「主体的に学習に取り組む態度」の問題はレポートの点数には含まず、別に評価します。未記入でも不備にはなりませんが、成績評価の一部になります。
- ④ 提出期限までに受付されたレポートで、解答が教科・科目の指示に従っていない場合や、評価が59点以下の場合は再提出になります。再提出の期限は提出期限の2週間後の16:00までです。
- ⑤ レポート提出の際、空欄がないように注意してください。空欄が3つ以上あった場合は不備となり、受付されず返却されます。
- ⑥ レポートに氏名バーコードシールを貼り、レポートのおもてうらの全体が確認できるPDFファイル(ファイル名は「登録番号-161-回数(後期は前期との重複を避けるために回数の前に1を付け加える)」)にしてTeamsで提出してください。レポートの解答の一部が確認できない場合やPDF形式でなければ不備となり、受付されず返却されます。
- ⑦ 提出期限の1週間後の16:00までは提出猶予期間になります。提出猶予期間に提出されたレポートは、不備や評価が59点以下の場合には即不合格となりますので、十分注意して提出してください。提出猶予期間に合格したレポートの評価は一律60点となります。
- ⑧ 各回のレポートが不合格となった時点で後期の単位は修得できません。以降のレポート提出、面接指導への出席は無効となります。
- ⑨ わからないところは、来校して(または電話で)直接質問してください。Teamsでの質問については即座に対応できないこともあるため、急ぐときは電話で確認してください。質問への回答は8:30~16:55に行います(通信制の休日を除く)。

7 成績評価について

前期・後期の成績は、(1)知識・技能、(2)思考・判断・表現、(3)主体性、の3つの観点で、レポート・定期考査・面接指導等をもとに総合的に評価します。

<科目担任からの連絡>

- ① 「教科書」、「学習書」、「氏名バーコードシール」を1つでも忘れたら出席を認めません。
 - ② 携帯電話は電源を切り、飲食物(ペットボトルなど)と共にきちんとカバンに入れ、机上(机の中)やポケットの中に入れておかない。
 - ③ やむを得ない事情を除き、面接時間中に途中退席した場合は出席となりません。
 - ④ 面接時間は、レポート作成の時間ではありません。学習範囲の中で、重要な部分などを中心に学習を行います。
面接時間中は、担当者の指示を聞いて取り組むこと。
 - ⑤ 空欄が3つ以上あった場合や、記述内容が不十分な場合はレポートは受付されず、不備として返却されます。
★各レポートには、観点3「主体的に学習に取り組む態度」の評価問題があります。⇒観点別評価の対象ですので、積極的に取り組みましょう。
★「主体的に学習に取り組む態度」の問題は、レポート毎に、5点満点で採点します。
 - ⑥ 必要面接時数は4時間ですが、理解を深めるため各レポートに1時間の出席プラスわからないレポート時に1時間の出席を心掛けましょう。
- ※前期・後期の成績は、(1)知識・技能、(2)思考・判断・表現、(3)主体性の3つの観点から、レポート・定期考査・面接指導などを総合的に評価します。(1)と(2)は、定期考査で分野別に配点・採点します。(3)は 英語コミュニケーション I (1)の場合、「レポートの全体的評価: レポート中の主体的に学習に取り組む態度の評価問題:その他=50:40:10」として採点します。最終的に、(1)(2)(3)の点数を合算して「評点」を算出します。

令和8年度後期 162 英語コミュニケーションⅠ(2)

- 1 使用教科書 「All Aboard! English Communication I Revised」(東京書籍)
- 2 使用学習書 「All Aboard! English Communication I Revised」(NHK出版)
- 3 使用教室 103教室
- 4 提出期限・面接指導実施日等 ※高校講座・・・NHK高校講座関連番号

No.	提出期限	学習内容	高校講座	教科書ページ	学習書ページ	面接指導実施日			
1	10月14日(水)	Lesson 9	29～31	108～119	84～95	9/13(日)	9/24(木)	10/4(日)	10/5(月)
2	11月18日(水)	Lesson 10	34～36	120～131	96～109	10/19(月)	11/1(日)	11/8(日)	11/12(木)
3	12月16日(水)	Reading 2 文法のまとめ4	38～39	132～137 140～141	110～115	11/26(木)	11/29(日)	11/30(月)	12/6(日)

(注) 1日に2時間授業があるとき(網掛け部分)は、同一内容のため、どちらか1時間しか出席できません。

5 面接指導出席時の注意

- ① 開始時刻に遅れて入室した場合、出席は認められません。
- ② 面接指導や校内でのルール、教員の指示を守れない場合、出席は認められません。
- ③ 携帯電話等の使用や私語、飲食等はできません。
- ④ 居眠りやレポート作成などの行為があった場合、出席は認められません。

6 レポートについて

- ① 教科書・学習書・プリント等をよく見て自分で考えて解いてください。他の生徒のレポートを写すことや、他人にレポートを完成させること(代筆)は厳禁です。再提出または不合格など厳しい指導があります。
- ② 期限までに提出してください。面接指導に積極的に出席し、レポート作成の参考にしましょう。
- ③ 「主体的に学習に取り組む態度」の問題はレポートの点数には含まず、別に評価します。未記入でも不備にはなりませんが、成績評価の一部になります。
- ④ 提出期限までに受付されたレポートで、解答が教科・科目の指示に従っていない場合や、評価が5.9点以下の場合は再提出になります。再提出の期限は提出期限の2週間後の16:00までです。
- ⑤ レポート提出の際、空欄がないように注意してください。空欄が3つ以上あった場合は不備となり、受付されず返却されます。
- ⑥ レポートに氏名バーコードシールを貼り、レポートのおもて・うらの全体が確認できるPDFファイル(ファイル名は「登録番号-162-回数(後期は前期との重複を避けるために回数の前に1を付け加える)」)にしてTeamsで提出してください。レポートの解答の一部が確認できない場合やPDF形式でなければ不備となり、受付されず返却されます。
- ⑦ 提出期限の1週間後の16:00までは提出猶予期間になります。提出猶予期間に提出されたレポートは、不備や評価が5.9点以下の場合は即不合格となりますので、十分注意して提出してください。提出猶予期間に合格したレポートの評価は一律6.0点となります。
- ⑧ 各回のレポートが不合格となった時点で後期の単位は修得できません。以降のレポート提出、面接指導への出席は無効となります。
- ⑨ わからないところは、来校して(または電話で)直接質問してください。Teamsでの質問については即座に対応できないこともあるため、急ぐときは電話で確認してください。質問への回答は8:30～16:55に行います(通信制の休日を除く)。

7 成績評価について

前期・後期の成績は、(1)知識・技能、(2)思考・判断・表現、(3)主体性、の3つの観点で、レポート・定期考査・面接指導等をもとに総合的に評価します。

<科目担当者からの連絡>

- ① 「教科書」、「学習書」、「氏名バーコードシール」を1つでも忘れたら出席を認めません。
- ② 携帯電話は電源を切り、飲食物(ペットボトルなど)と共にきちんとカバンに入れ、机上(机の中)やポケットの中に入れておかない。
- ③ やむを得ない事情を除き、面接時間中に途中退席した場合は出席となりません。
- ④ 面接時間は、レポート作成の時間ではありません。面接時間中は、担当者の指示を聞いて取り組むこと。
- ⑤ 必要面接時数は4時間ですが、理解を深めるため各レポートに1時間の出席プラスわからないレポート時に1時間の出席を心掛けましょう。
- ⑥ 7 成績評価について、
(1)と(2)は、定期考査で分野別に配点・採点します。(3)は 英語コミュニケーションⅠ(2)の場合、「レポートの全体的評価:レポート中の主体的に学習に取り組む態度の評価問題:その他=50:40:10」として採点します。最終的に、(1)(2)(3)の点数を合算して「評点」を算出します。

令和8年度後期 163 英語コミュニケーションⅡ

- 1 使用教科書 「All Aboard! English Communication Ⅱ」(東京書籍)
- 2 使用学習書 「All Aboard! English Communication Ⅱ」(NHK出版)
- 3 使用教室 306教室
- 4 提出期限・面接指導実施日等 ※高校講座・・・NHK高校講座関連番号

No.	提出期限	学習内容	高校講座	教科書ページ	学習書ページ	面接指導実施日		
1	9月30日(水)	Lesson 6	20~23	78~ 89	66~ 77	9/17(木)	9/24(木)	
2	10月14日(水)	Lesson 7	24~27	92~103	78~ 89	10/4(日)	10/5(月)	
3	11月 4日(水)	Lesson 8	28~31	106~117	90~101	10/19(月)	11/1(日)	
4	11月18日(水)	Lesson 9	32~35	120~131	102~113	11/8(日)	11/12(木)	11/16(月)
5	12月 2日(水)	Lesson 10	37~40	134~145	114~125	11/26(木)	11/29(日)	11/30(月)
6	12月16日(水)	Communication2 文法のまとめ4 Reading 2	なし	104 146~153	126~135	12/6(日)	12/14(月)	

(注) 1日に2時間授業があるとき(網掛け部分)は、同一内容のため、どちらか1時間しか出席できません。

5 面接指導出席時の注意

- ① 開始時刻に遅れて入室した場合、出席は認められません。
- ② 面接指導や校内でのルール、教員の指示を守れない場合、出席は認められません。
- ③ 携帯電話等の使用や私語、飲食等はできません。
- ④ 居眠りやレポート作成などの行為があった場合、出席は認められません。

6 レポートについて

- ① 教科書・学習書・プリント等をよく見て自分で考えて解いてください。他の生徒のレポートを写すことや、他人にレポートを完成させること(代筆)は厳禁です。再提出または不合格など厳しい指導があります。
- ② 期限までに提出してください。面接指導に積極的に出席し、レポート作成の参考にしましょう。
- ③ 「主体的に学習に取り組む態度」の問題はレポートの点数には含まず、別に評価します。未記入でも不備にはなりませんが、成績評価の一部になります。
- ④ 提出期限までに受付されたレポートで、解答が教科・科目の指示に従っていない場合や、評価が59点以下の場合は再提出になります。再提出の期限は提出期限の2週間後の16:00までです。
- ⑤ レポート提出の際、空欄がないように注意してください。空欄が3つ以上あった場合は不備となり、受付されず返却されます。
- ⑥ レポートに氏名バーコードシールを貼り、レポートのおもて・うらの全体が確認できるPDFファイル(ファイル名は「登録番号-163-回数(後期は前期との重複を避けるために回数の前に1を付け加える)」)にしてTeamsで提出してください。レポートの解答の一部が確認できない場合やPDF形式でなければ不備となり、受付されず返却されます。
- ⑦ 提出期限の1週間後の16:00までは提出猶予期間になります。提出猶予期間に提出されたレポートは、不備や評価が59点以下の場合は即不合格となりますので、十分注意して提出してください。提出猶予期間に合格したレポートの評価は一律60点となります。
- ⑧ 各回のレポートが不合格となった時点で後期の単位は修得できません。以降のレポート提出、面接指導への出席は無効となります。
- ⑨ わからないところは、来校して(または電話で)直接質問してください。Teamsでの質問については即座に対応できないこともあるため、急ぐときは電話で確認してください。質問への回答は8:30~16:55に行います(通信制の休日を除く)。

7 成績評価について

前期・後期の成績は、(1)知識・技能、(2)思考・判断・表現、(3)主体性、の3つの観点で、レポート・定期考査・面接指導等をもとに総合的に評価します。

<科目担当者からの連絡>

- ①「教科書」、「学習書」、「氏名バーコードシール」を1つでも忘れたら出席を認めません。
- ② 携帯電話は電源を切り、飲食物(ペットボトルなど)と共にきちんとカバンに入れ、机上(机の中)やポケットの中に入れておかない。
- ③ やむを得ない事情を除き、面接時間中に途中退席した場合は出席となりません。
- ④ 面接時間は、レポート作成の時間ではありません。面接時間中は、担当者の指示を聞いて取り組むこと。
- ⑤ 必要面接時数は8時間ですが、理解を深めるため各レポートに1時間の出席プラスわからないレポート時に2時間の出席を心掛けましょう。
- ⑥ 7 成績評価について、
(1)と(2)は、定期考査で分野別に配点・採点します。(3)は 英語コミュニケーションⅡの場合、「レポートの全体的評価:レポート中の主体的に学習に取り組む態度の評価問題:その他=50:40:10」として採点します。最終的に、(1)(2)(3)の点数を合算して「評点」を算出します。

令和8年度 後期 164 論理・表現 I

- 1 使用教科書 「NEW FAVORITE English Logic and Expression I Revised」(東京書籍)
- 2 使用学習書 「NEW FAVORITE English Logic and Expression I」(NHK出版)
- 3 使用教室 305教室
- 4 提出期限・面接指導等 ※高校講座…NHK高校講座関連番号

No.	提出期限	学習内容	高校講座	教科書ページ	学習書ページ	面接指導実施日		
1	10月14日(水)	Lesson 7-8	13・14	50~61	44~55	9/17 木	9/24 木	10/5 月
2	11月18日(水)	Lesson 9-10	15・17	62~73	56~67	11/1 日	11/8 日	11/12 木
3	12月16日(水)	Lesson 11-12	18~21	74~85	68~80	11/29 日	11/30 月	12/6 日

5 面接指導出席時の注意

- ① 開始時刻に遅れて入室した場合、出席は認められません。
- ② 面接指導や校内でのルール、教員の指示を守れない場合、出席は認められません。
- ③ 携帯電話等の使用や私語、飲食等はできません。
- ④ 居眠りやレポート作成などの行為があった場合、出席は認められません。

6 レポートについて

- ① 教科書・学習書・プリント等をよく見て自分で考えて解いてください。他の生徒のレポートを写すことや、他人にレポートを完成させること(代筆)は厳禁です。再提出または不合格など厳しい指導があります。
- ② 期限までに提出してください。面接指導に積極的に出席し、レポート作成の参考にしましょう。
- ③ 「主体的に学習に取り組む態度」の問題はレポートの点数には含まず、別に評価します。未記入でも不備にはなりませんが、成績評価の一部になります。
- ④ 提出期限までに受付されたレポートで、解答が教科・科目の指示に従っていない場合や、評価が59点以下の場合は再提出になります。再提出の期限は提出期限の2週間後の16:00までです。
- ⑤ レポート提出の際、空欄がないように注意してください。空欄が3つ以上あった場合は不備となり、受付されず返却されます。
- ⑥ レポートに氏名バーコードシールを貼り、レポートのおもてうらの全体が確認できるPDFファイル(ファイル名は「登録番号-164-回数(後期は前期との重複を避けるために回数の前に1を付け加える)」)にしてTeamsで提出してください。レポートの解答の一部が確認できない場合やPDF形式でなければ不備となり、受付されず返却されます。
- ⑦ 提出期限の1週間後の16:00までは提出猶予期間になります。提出猶予期間に提出されたレポートは、不備や評価が59点以下の場合は即不合格となりますので、十分注意して提出してください。提出猶予期間に合格したレポートの評価は一律60点となります。
- ⑧ 各回のレポートが不合格となった時点で後期の単位は修得できません。以降のレポート提出、面接指導への出席は無効となります。
- ⑨ わからないところは、来校して(または電話で)直接質問してください。Teamsでの質問については即座に対応できないこともあるため、急ぐときは電話で確認してください。質問への回答は8:30~16:55に行います(通信制の休日を除く)。

7 成績評価について

前期・後期の成績は、(1)知識・技能、(2)思考・判断・表現、(3)主体性、の3つの観点で、レポート・定期考査・面接指導等をもとに総合的に評価します。

<科目担任からの連絡>

- ① 「教科書」、「学習書」、「氏名バーコードシール」を1つでも忘れたら出席を認めません。
 - ② 携帯電話は電源を切り、飲食物(ペットボトルなど)と共にきちんとカバンに入れ、机上(机の中)やポケットの中に入れておかない。
 - ③ やむを得ない事情を除き、面接時間中に途中退席した場合は出席となりません。
 - ④ 面接時間は、レポート作成の時間ではありません。学習範囲の中で、重要な部分などを中心に学習を行います。
面接時間中は、担当者の指示を聞いて取り組むこと。
 - ⑤ 空欄が3つ以上あった場合や、記述内容が不十分な場合はレポートは受付されず、不備として返却されます。
★各レポートには、観点3「主体的に学習に取り組む態度」の評価問題があります。⇒観点別評価の対象ですので、積極的に取り組みましょう。
★「主体的に学習に取り組む態度」の問題は、レポート毎に、5点満点で採点します。
 - ⑥ 必要面接時数は4時間ですが、理解を深めるため各レポートに1時間の出席プラスわからないレポート時に1時間の出席を心掛けましょう。
- ※前期・後期の成績は、(1)知識・技能、(2)思考・判断・表現、(3)主体性の3つの観点から、レポート・定期考査・面接指導などを総合的に評価します。(1)と(2)は、定期考査で分野別に配点・採点します。(3)は 英語コミュニケーション I (1)の場合、「レポートの全体的評価：レポート中の主体的に学習に取り組む態度の評価問題：その他=50:40:10」として採点します。最終的に、(1)(2)(3)の点数を合算して「評点」を算出します。

一部新作 NHK テレビ 高校講座 英語コミュニケーション 2026年度 年間放送計画表

■ 新作回

Eテレビ 木曜日 午前10:00～10:20

※ この番組は、一部2026年度の新作番組です。
※ 放送時間・放送内容・特設番組などに変更になる場合があります。
※ その際は番組ホームページでお知らせします。

放送日	タイトル	● 印は教科書対応項目	学習のポイント
4/16	1 ● Warm-up 英語の世界に親しもう	英語のやり 学習法 辞書の使い方 英語の目的 英語の世界に親しむ	英語のやり 不定詞と動名詞の違い 英語の目的 楽しんでいることを伝えられる
23	2 ● Pre-lesson 1 自己紹介をしよう	英語のやり be 動詞 英語の目的 自己紹介ができるようになる	英語のやり 動名詞 英語の目的 楽しんでいることを伝えられる
30	3 ● Pre-lesson 2 自分の趣味について話そう	英語のやり be 動詞 英語の目的 自己紹介の文法について話せる	英語のやり 動名詞 英語の目的 楽しんでいることを伝えられる
5/ 7	4 ● Lesson 1 過去にしたことを伝えよう	英語のやり be 動詞の過去形 英語のやり edをつける語けない語 英語の目的 過去にしたことを話せる	英語のやり 不定詞と動名詞の違い 英語の目的 楽しんでいることを伝えられる
14	5 過去の状態について説明しよう	英語のやり be 動詞の過去形 英語のやり 過去の状態について説明できる	英語のやり 不定詞と動名詞の違い 英語の目的 楽しんでいることを伝えられる
21	6 ● Lesson 2 今していることを伝えよう	英語のやり 現在進行形 英語のやり 進行形にしない動詞 英語の目的 今していることを伝えられる	英語のやり 不定詞と動名詞の違い 英語の目的 楽しんでいることを伝えられる
28	7 相手に質問してみよう	英語のやり 文法のおさらい 英語の疑問 英語のやり 過去進行形 英語の目的 相手に質問することができる	英語のやり 不定詞と動名詞の違い 英語の目的 楽しんでいることを伝えられる
6/ 4	8 ● Lesson 3 できることを伝えよう	英語のやり 助動詞 Can 英語のやり 学習法 英語の発音 英語の目的 「～できる」と伝えられる	英語のやり 不定詞と動名詞の違い 英語の目的 楽しんでいることを伝えられる
11	9 自分の意志を伝えよう	英語のやり 助動詞 Will 英語のやり 疑問 theをつける言葉 英語の目的 「～するつもり」と伝えられる	英語のやり 不定詞と動名詞の違い 英語の目的 楽しんでいることを伝えられる
18	10 ● Communication 2 道案内をしよう	英語のやり 命令 (指示) 文 英語のやり show と tell の使い 英語の目的 道案内ができる	英語のやり 不定詞と動名詞の違い 英語の目的 楽しんでいることを伝えられる
25	11 ● Lesson 4 やりたいことを伝えよう	英語のやり to 不定詞 (名詞用法) 英語のやり want to～ 英語の目的 やりたいことについて伝えられる	英語のやり 不定詞と動名詞の違い 英語の目的 楽しんでいることを伝えられる
7/ 2	12 レットライ！ 自分の夢や目標を発表しよう	英語のやり 目的を説明させる表現 英語のやり フォーミュラとーチ 文と文をつなぐ 英語の目的 自分の夢や目標を話せる	英語のやり 不定詞と動名詞の違い 英語の目的 楽しんでいることを伝えられる
9	13 ● Lesson 4 目的を伝えよう	英語のやり to 不定詞 (副詞用法・形容詞用法) 英語のやり go to と to go 英語の目的 「～するために」と伝えられる	英語のやり 不定詞と動名詞の違い 英語の目的 楽しんでいることを伝えられる
16	14 理由を加えて説明しよう	英語のやり 不定詞のまとめ 英語のやり because の使い方 英語の目的 理由を加えて説明できる	英語のやり 不定詞と動名詞の違い 英語の目的 楽しんでいることを伝えられる
23	15 レットライ！ 英文Eメールを書こう	英語のやり 英語の文法知識① 英語のやり 日本語の表現を捨てよう 英語の目的 英文Eメールを書くことができる	英語のやり 不定詞と動名詞の違い 英語の目的 楽しんでいることを伝えられる
30	16 ● Extra Target 1 文と文をつないで会話してみよう	英語のやり 英語の文法知識② 英語のやり 単語が通じないときの対処法 英語の目的 文と文をつなげて会話ができる	英語のやり 不定詞と動名詞の違い 英語の目的 楽しんでいることを伝えられる
夏期講座 8月3日(月)～8月28日(金) 夏期講座全体から選んだ課題のための再放送などを 科目の時間枠をはなれて放送します。			
9/ 3	17 ● Lesson 5 楽しんでいることを伝えよう	英語のやり 不定詞と動名詞の違い 英語の目的 楽しんでいることを伝えられる	英語のやり 不定詞と動名詞の違い 英語の目的 楽しんでいることを伝えられる
10	18 得意なことを伝えよう	英語のやり 動名詞 英語のやり 学習法 スピーキング 英語の目的 得意なことや自分の夢を伝えられる	英語のやり 不定詞と動名詞の違い 英語の目的 楽しんでいることを伝えられる
17	19 ● Let's Listen 2 買い物してみよう	英語のやり 数や量を表す表現 英語のやり 助動詞 would like to 英語の目的 買い物ができる	英語のやり 不定詞と動名詞の違い 英語の目的 楽しんでいることを伝えられる

※ 「タイトル/学習のポイント」は、
制作の調整によって変更される場合があります。
※ タイトル●印は教科書対応項目

24	20	● Reading 1	小ばなしを聞かせよう	①文・表現 知識や表現 ②文の目的 コーモアの文化 ③文の目的 小ばなしで聞き手を喜ばせることができる
10/ 1	21	● Lesson 6	写真や絵を説明しよう	①文・表現 受け身 ②文の目的 受け身はどんなときに使う？ ③文の目的 写真や絵について説明できる
8	22		写真や絵について質問し合おう	①文・表現 受け身 ②文の目的 疑問、疑問を伝える ③文の目的 写真や絵について説明できる
15	23	● Lesson 7	2つのものを比べて説明しよう	①文・表現 比較表現 (比較級) ②文の目的 er and more型 ③文の目的 2つのものを比べて説明できる
22	24		3つ以上のものを比べて説明しよう	①文・表現 比較表現 (最上級) ②文の目的 形容詞を使いこなす ③文の目的 3つ以上のものを比べて説明できる
29	25		レットライ！ 自分のヒーローを紹介しよう	①文・表現 比較表現を使う ②文の目的 学習法 ライティング ③文の目的 あこがれの人物を説明できる
11/ 5	26	● Lesson 8	経験を伝えよう	①文・表現 現在完了形 (継続) ②文の目的 haveをつける意味 ③文の目的 自分の経験を説明できる
12	27		続いている状態を伝えよう	①文・表現 現在完了形 (継続) ②文の目的 英文日記を書く ③文の目的 すつとしていることを説明できる
19	28	● Communication 3	レットライ！ 乗り換え案内をしてみよう	①文・表現 順番や時間を読む表現 ②文の目的 take and get on ③文の目的 駅の乗り換え案内ができる
26	29	● Lesson 9	環境問題について考えてみよう	①文・表現 It is...to～で大切なことを伝える ②文の目的 学習法 リスニング ③文の目的 英語を聞き取れる
12/ 3	30		言葉に情報を加えて説明しよう (1)	①文・表現 現在分詞 過去分詞 ②文の目的 現在分詞と過去分詞の違い ③文の目的 情報を加えて説明できる①
10	31		言葉に情報を加えて説明しよう (2)	①文・表現 現在分詞 過去分詞 ②文の目的 身近な過去分詞を使った表現 ③文の目的 情報を加えて説明できる②
17	32	レットライ！	時事英語に親しもう	①文・表現 見出しと現在・過去分詞 ②文の目的 時事英語のいろいろ ③文の目的 時事英語に興味を持つ
24	33		自分の問題について発表しよう	①文・表現 語を積み立てる ②文の目的 スピーチの英語 ③文の目的 自分の悩みや問題を説明できる
冬期講座 12月28日(月)～1月8日(金) 高校講座全体から選んだ課題のための再放送などを ※12月31日～1月3日は休止です。科目の時間枠をはなれて放送します。				
1/14	34	● Lesson 10	海外の文化や社会について考えてみよう	①文・表現 代名詞をつかわね ②文の目的 学習法 語彙を覚やす ③文の目的 英文の構造を聞き取れる
21	35		どんな物かわくわく説明しよう	①文・表現 関係代名詞 which ②文の目的 英語的な修飾法 ③文の目的 物をくわくわく説明できる
28	36		どんな人かわくわく説明しよう	①文・表現 関係代名詞 who ②文の目的 who と that ③文の目的 人をくわくわく説明できる
2/ 4	37	レットライ！	SNSで英語の世界を広げよう	①文・表現 関係表現 ②文の目的 SNSでの英語の世界を広げる ③文の目的 SNSで英語の世界を広げる
11	38	● Reading 2	物語を楽しもう	①文・表現 英語と日本語の主題 ②文の目的 学習法 リーディング ③文の目的 短い物語を読む
18	39	● Extra Target 3	願望を伝えよう	①文・表現 仮定法過去 ②文の目的 仮定法過去 ③文の目的 願望を伝えられる
25	40	レットライ！	自分のことや考えを伝えよう	①文の目的 1年間の学習の成果を振り返る
春期講座 3月1日(月)～4月2日(金) 高校講座全体から選んだ課題のための再放送などを ※4月3日は休止です。科目の時間枠をはなれて放送します。				

NHK ラジオ 高校講座 英語コミュニケーションⅡ

2026 年度 年間放送計画表

FM

火曜日 (月曜深夜) 午前 3:40 ~ 4:00

※ この番組は、前年度の前放送です。
※ 放送時刻は放送局や放送地域などで変更になる場合があります。
※ その際は番組ホームページでお知らせします。

放送日	タイトル	学習のポイント
4/ 7	1 入門講座	● 講師とアシスタントの自己紹介 ● 学習目的の紹介と各レッスンの流れ ● ラジオを使った学習方法の紹介
14	2 Pre-Lesson My Plans for This Year	(原簿) 今年やってみたいことについて話すことができる (原簿) 今年やってみたいことの計画 (原簿) want to...不定詞
21	3 Lesson 1 (1) A Colorful Island	(原簿) 行先行ってみたい国について話すことができる (原簿) レッスン全体の概要把握 (原簿) 理由を述べる表現 (because)
28	4 (2)	(原簿) 自分の旅行の経験について述べることができる (原簿) グラマの旅行の報告 (原簿) 関係代名詞 what
5/ 5	5 (3)	(原簿) 海外で行ってみたい場所としたいことについて話すことができる (原簿) アナと妹の対話 (原簿) 自分のしたいことを言い表す表現
12	6 Lesson 2 (1) With the Beatles	(原簿) 自分の好きな音楽や歌手、グループについて話すことができる (原簿) レッスン全体の概要把握 (原簿) 比較表現 more, the most
19	7 (2)	(原簿) 2つ以上のものを比べて自分の好きな音楽などについて説明できる (原簿) ディスクジョッキーとリスナーによる音楽に関する会話 (原簿) 比較表現 more, the most
26	8 (3)	(原簿) 世界を超えて人気のある人物について、英語で話せることができる (原簿) リズムとマナによる人気のある人物に関する対話 (原簿) 結果と理由を述べる表現
6/ 2	9 Lesson 3 (1) Wild Men	(原簿) ワイルドマンのコスチュームに関して話すことができる (原簿) レッスン全体の概要把握 (原簿) 意見や感想に同意する表現 (I would... など)
9	10 (2)	(原簿) ある行動に対する意見や感想を述べることができる (原簿) ワイルドマンと異星人の対話 (原簿) it の用法 (It is... to..., it is... that...)
16	11 (3)	(原簿) 身近な行事について、英語で紹介することができる (原簿) ある行事についての説明 (原簿) 身近な行事や祭りについて紹介する表現
23	12 Lesson 4 (1) Little Hero	(原簿) 子供のころの大好きだった物語について話すことができる (原簿) レッスン全体の概要把握 (原簿) 物語のおもしろさを伝えるときの表現
30	13 (2)	(原簿) 同様に自分の経験を伝えることができる (原簿) ハチドリの話 (原簿) 同様に自分の経験を伝えることができる
7/ 7	14 (3)	(原簿) 自分の好きな物語を紹介することができる (原簿) 好きな物語についての対話 (原簿) 好きな物語を紹介するときの表現
14	15 Extra Target ① ずっと……し続けています	(原簿) 「ずっと……し続けています」を用いて述べるることができる (原簿) 現在完了進行形を使った表現 (原簿) 現在完了進行形
21	16 Lesson 5 (1) Special Makeup In Kabuki	(原簿) どのパフォーマンスを見たいか答えることができる (原簿) レッスン全体の概要把握 (原簿) 文化の特徴を伝える表現
28	17 (2)	(原簿) 歌舞伎で行われている工夫等を説明できる (原簿) 歌舞伎教室の音声ガイド (1) (原簿) to 不規則を含む表現

※ 「タイトル/学習のポイント」は、制作の過程で変更になる場合があります。

夏期講座 8月4日(火) ~ 8月30日(日)				高校講座全体から選んだ得意のための再放送などを 科目の別枠枠をはなれて放送します。	
9/ 1	18 Lesson 5 (3)	(原簿) 歌舞伎の化粧について説明できる (原簿) 歌舞伎教室の音声ガイド (2) (原簿) 伝統の技術			
8	19 (4)	(原簿) 日本の伝統文化について、英語で説明できる (原簿) 日本の伝統文化についての対話 (原簿) 伝統文化を説明するための表現			
15	20 Lesson 6 (1) Seeds for Future Generations	(原簿) 自分の好きな野菜について話すことができる (原簿) レッスン全体の概要把握 (原簿) 自分の好きなことについて述べる表現			
22	21 (2)	(原簿) 何になることについて「……かどうか思う」と伝えることができる (原簿) 生徒の意見発表についてのグループ発表 (1) (原簿) 結果の目的語になるif (wonder if...)			
29	22 (3)	(原簿) 何になることについて「……かどうか思う」と伝えることができる (原簿) 生徒の意見発表についてのグループ発表 (2) (原簿) 結果の目的語になるif (ask if...)			
10/ 6	23 (4)	(原簿) 地元で有名な場所やものについて発表することができる (原簿) 地元について話すこと (原簿) 有名な場所やものについて発表するための表現			
13	24 Lesson 7 (1) Over the Wall	(原簿) 壁について話すことができる (原簿) レッスン全体の概要把握 (原簿) 結果の目的語になるwhen			
20	25 (2)	(原簿) 時について説明を加えることができる (原簿) アーティストのミヤザキケンスケさんの話 (1) (原簿) 関係代名詞: when			
27	26 (3)	(原簿) 場所について説明を加えることができる (原簿) アーティストのミヤザキケンスケさんの話 (2) (原簿) 関係代名詞: where			
11/ 3	27 (4)	(原簿) 世界の文化や交流する方法について考え、発表することができる (原簿) どのようにして世界の文化や交流したいかについてのインタビュー (原簿) 世界の文化や交流する方法について発表するための表現			
10	28 Lesson 8 (1) Inspiration from Nature	(原簿) 自然のデザインをヒントにした製品について考えを言うことができる (原簿) レッスン全体の概要把握 (原簿) 自然にある形や色を伝える表現			
17	29 (2)	(原簿) 見たり聞いたりしたことについて、その様子や感想を伝えることができる (原簿) 自然のデザインをテーマにしたオンライン発表 (1) (原簿) 関係代名詞			
24	30 (3)	(原簿) 自然のデザインをヒントにした製品について説明できる (原簿) 自然のデザインをテーマにしたオンライン発表 (2) (原簿) レッスン中の発表表現			
12/ 1	31 (4)	(原簿) 自然のデザインをヒントにした製品について考えを言うことができる (原簿) 自然のデザインに関する記事 (原簿) 紹介記事を書くための表現			
8	32 Lesson 9 (1) The Bitter Truth behind Chocolate	(原簿) チョコレートなど甘い物について質問を答えることができる (原簿) レッスン全体の概要把握 (原簿) チョコレートなど甘い物について述べる表現			
15	33 (2)	(原簿) 「……させる」と言うことができる (原簿) チョコレートを作る過程についての記事 (1) (原簿) 使役動詞 make			
22	34 (3)	(原簿) 「……させてください」と許可を求めることができる (原簿) チョコレートを作る過程についての記事 (2) (原簿) 使役動詞 let			
冬期講座 12月29日(火) ~ 1月10日(日)				高校講座全体から選んだ得意のための再放送などを 科目の別枠枠をはなれて放送します。	
1/ 12	35 (4)	(原簿) チョコレートを作る過程をめぐって、自分の意見を述べる事ができる (原簿) 社会問題についての討論 (原簿) 結果やおおきく意見を述べる表現			

2026 NHK高校講座 (英語コミュニケーションⅡ)

19	36	Extra Target ② ○○ならいいのに……	(原簿) 実現できそうな願望を述べる事ができる (原簿) 仮定法過去を使った表現 (原簿) 仮定法過去
26	37	Lesson 10 (1) Fighting Angel	(原簿) 人を助ける職業について自分の考えを述べることが出来る (原簿) レッスン全体の概要把握 (原簿) 自分の意見を述べるときの表現
2/ 2	38	(2)	(原簿) 分限稿文を使って、文に情報を付け加えることができる (原簿) ナイチンゲールの話 (1) (原簿) 分限稿文
9	39	(3)	(原簿) 分限稿文を使って、文に情報を付け加えることができる (原簿) ナイチンゲール-Aの話 (2) (原簿) 分限稿文
16	40	(4)	(原簿) 人を助ける職業について発表することができる (原簿) 人を助ける職業についての対話 (原簿) 人を助ける職業について話す表現
23	41	FINAL LESSON 1 One Step Further ~1 歩先へ~	●ゲストを召喚、英語コミュニケーションに関するアドバイスや魅力などについて話してもらう ●英語で表現する楽しさをさらに学び、次のステップを目指す！
3/ 2	42	FINAL LESSON 2 One Step Further ~1 歩先へ~	●ゲストを召喚、英語コミュニケーションに関するアドバイスや魅力などについて話してもらう ●英語で表現する楽しさをさらに学び、次のステップを目指す！
春期講座 3月9日(火) ~ 4月4日(日)			高校講座全体から選んだ得意のための再放送などを 科目の別枠枠をはなれて放送します。

FM
水曜日 (火曜深夜) 午前3:40～4:00① この番組は、約半年の再放送です。
② 放送時刻は既読番組や特別番組などで変更になる場合があります。その際は番組ホームページでお知らせいたします。

放送日	タイトル	学習のポイント
4/ 8	1 Orientation [ガイダンス] 「論理・表現I」はどんな科目？ラジオでの学習の深れを知ろう	● Goal 1年間の英語学習の指針を伝えることができる ● Skill 1 考えや理由などを述べる ● Ability これまでの英語学習を振り返ってみる
15	2 Unit 1 Lesson 1 [やり取り] 自習先で初めての食事の場面でもやり取りをしてみよう	● Goal 食事の場面でやり取りを行うことができる ● Skill 2 要する、要する、要する、要する ● Ability 「話す」と「聞く」をこなせる
22	3 Unit 1 Lesson 2 [やり取り] 音楽の授業で聞いた曲でもやり取りをしてみよう	● Goal わかりやすい単語を覚えることができる ● Skill 3 注意を引く、説明する ● Ability 絵画やTV英語学習を取り入れてみる
29	4 Unit 1 Lesson 3 [発表・紹介] 身近な人のことをよく知ってもらえるように紹介してみよう	● Goal 身近な人を紹介することができる ● Skill 4 紹介する、注意を引く ● Ability 発表の様子をタブレットやPCに録画してみる
5/ 6	5 Unit 1 Lesson 4 [やり取り] 相手の体調を尋ねたり自分の体調を伝えたりしよう	● Goal 体調を尋ねたり、アドバイスしたりすることができる ● Skill 5 挨拶する、比較する、要する、要する ● Ability 英語を音声入力してみる
13	6 Unit 1 Lesson 5 [やり取り] 買い物の場面でもやり取りをしてみよう	● Goal 買い物の場面でもやり取りをすることができる ● Skill 6 挨拶する、比較する、要する、要する ● Ability アプリを使って会話をする
20	7 Enjoy Interaction 1 [やり取り] ロールプレイにチャレンジ③/「誰し」の話を聞いてほしい	● Goal 相手の気持ちをよく理解することができる ● Skill 7 挨拶する、比較する、要する、要する ● Ability 会話のストラテジーを覚える
27	8 Enjoy Interaction 2 [やり取り] ロールプレイにチャレンジ④/どっちのレストランに行く？	● Goal やり取りを続けたり質問をすることができる ● Skill 8 挨拶する、比較する、要する、要する ● Ability 会話のストラテジーを覚える
6/ 3	9 Enjoy Interaction 3 [やり取り] ロールプレイにチャレンジ⑤/お土産を良く買おう！	● Goal やり取りを続けたり質問をすることができる ● Skill 9 挨拶する、比較する、要する、要する ● Ability 会話のストラテジーを覚える
10	10 Unit 1 Lesson 6-1 [ライティング] 旅行で行きたい場所を伝えてみよう①	● Goal 行きたい場所とその理由をわかりやすく伝えられる ● Skill 10 要する、比較する、要する、要する ● Ability 活用・語法ルールを使った英語学習
17	11 Unit 1 Lesson 6-2 [ライティング] 旅行で行きたい場所を伝えてみよう②	● Goal 行きたい場所とその理由をわかりやすく伝えられる ● Skill 11 要する、比較する、要する、要する ● Ability 活用・語法ルールを使った英語学習
24	12 Enjoy Writing 1 [ライティング] Creative Writingにチャレンジ/話のオチを考えよう！	● Goal 話の流れを最後まで読み解くことができる ● Skill 12 要する、比較する、要する、要する ● Ability 活用・語法ルールを使った英語学習
7/ 1	13 Unit 1 Lesson 7 [やり取り] イベントに誘う場面でもやり取りをしてみよう	● Goal イベントに誘う場面でもやり取りをすることができる ● Skill 13 要する、比較する、要する、要する ● Ability 会話のストラテジーを覚える
8	14 Unit 1 Lesson 8 [やり取り] スクールカウンセラーに相談する場面でもやり取りをしてみよう	● Goal 悩める場面でもやり取りをすることができる ● Skill 14 要する、比較する、要する、要する ● Ability 会話のストラテジーを覚える
15	15 Unit 1 Lesson 9 [発表・紹介] 日本に親しい外国人にオーストラリアの文化やアニメを紹介しよう	● Goal 日本に親しい外国人にオーストラリアの文化やアニメを紹介することができる ● Skill 15 要する、比較する、要する、要する ● Ability 会話のストラテジーを覚える
22	16 Enjoy Presentation 1 [発表] 経済型プレゼンにチャレンジ/英語科の先生方を招待しよう	● Goal 授業中の質問や意見を提出して発言することができる ● Skill 16 要する、比較する、要する、要する ● Ability 発表の準備をする
29	17 Unit 1 Lesson 10 [やり取り] 持ち合わせに選んだ場面でもやり取りをしてみよう	● Goal 相手の気持ちに寄り添うことができる ● Skill 17 要する、比較する、要する、要する ● Ability ここまでのTIPSを振り返る

※「タイトル/学習のポイント」は、制作の過程で変更になる場合があります。

夏期講座		8月4日(火)～8月30日(日)	放送時刻は既読番組から繰り込まれるため再放送などを 科目の時間枠を空けて放送します。
9/ 2	18	Unit 1 Lesson 11-1 [ディスカッション] 身近な社会問題についてディスカッションをしてみよう①	● Goal 身近な社会問題についてやり取りをすることができる ● Skill 18 要する、比較する、要する、要する ● Ability 英語学習の場面に生成AIを活用する
9	19	Unit 1 Lesson 11-2 [ディスカッション] 身近な社会問題についてディスカッションをしてみよう②	● Goal 身近な社会問題についてやり取りをすることができる ● Skill 19 要する、比較する、要する、要する ● Ability 英語学習の場面に生成AIを活用する
16	20	Unit 1 Lesson 12-1 [ライティング] 学校の英語学習で意見を投稿してみよう①	● Goal 記事やメールで自分の意見を伝えることができる ● Skill 20 要する、比較する、要する、要する ● Ability 英語学習の場面に生成AIを活用する
23	21	Unit 1 Lesson 12-2 [ライティング] 学校の英語学習で意見を投稿してみよう②	● Goal 記事やメールで自分の意見を伝えることができる ● Skill 21 要する、比較する、要する、要する ● Ability 英語学習の場面に生成AIを活用する
30	22	Special Lesson 1 [“模造”のコツ1] 意見交換でリーダー役を挑戦してみよう①	● Goal グラフやデータの情報を伝えることができる ● Skill 22 要する、比較する、要する、要する ● Ability 「英語コミュニケーション」の学習につなげる
10/ 7	23	Special Lesson 2 [“模造”のコツ2] 意見交換でグループ内に協力者を挑戦してみよう①	● Goal 記事やメールで自分の意見を伝えることができる ● Skill 23 要する、比較する、要する、要する ● Ability 「英語コミュニケーション」の学習につなげる
14	24	Special Lesson 3 [“模造”のコツ3] 意見交換でリーダー役を挑戦してみよう②	● Goal 記事やメールで自分の意見を伝えることができる ● Skill 24 要する、比較する、要する、要する ● Ability 「英語コミュニケーション」の学習につなげる
21	25	Special Lesson 4 [“模造”のコツ4] 意見交換でグループ内に協力者を挑戦してみよう②	● Goal 記事やメールで自分の意見を伝えることができる ● Skill 25 要する、比較する、要する、要する ● Ability 「英語コミュニケーション」の学習につなげる
28	26	Enjoy Discussion 1 意見を交換することにチャレンジ！/教室に置きたいAIロボットは？①	● Goal 教室に置きたいAIロボットのアイデアを出せる ● Skill 26 要する、比較する、要する、要する ● Ability 「話す」と「聞く」をこなせる
11/ 4	27	Enjoy Discussion 2 議論を出すことにチャレンジ！/教室に置きたいAIロボットは？②	● Goal 教室に置きたいAIロボットのアイデアを出せる ● Skill 27 要する、比較する、要する、要する ● Ability 「話す」と「聞く」をこなせる
11	28	Unit 2 Lesson 1 [ディベート] 電子書籍と紙の書籍についてディベートをしてみよう①	● Goal 相手の意見と自分の意見とを主張することができる ● Skill 28 要する、比較する、要する、要する ● Ability 相手の主張をまとめて反論する
18	29	Unit 2 Lesson 2 [ディベート] 電子書籍と紙の書籍についてディベートをしてみよう②	● Goal 相手の意見と自分の意見とを主張することができる ● Skill 29 要する、比較する、要する、要する ● Ability 相手の主張をまとめて反論する
25	30	Enjoy Writing 2 [ライティング] 書くことのやり取りにチャレンジ！/教室でSNSのやり取りをしてみよう	● Goal 考えや意見を明確に伝えることができる ● Skill 30 要する、比較する、要する、要する ● Ability SNSを英語学習に活用する
12/ 2	31	Unit 2 Lesson 3 [スピーチ] 「誰し」の人生を物語るように伝えてみよう	● Goal 話し手を引きつける構成と話し方を伝えることができる ● Skill 31 要する、比較する、要する、要する ● Ability ストーリーテリングの構成と話し方を伝える
9	32	Unit 2 Lesson 4 [発表・紹介] 好きなゲームや遊びのやり方を紹介しよう	● Goal ルールやコツをわかりやすく紹介することができる ● Skill 32 要する、比較する、要する、要する ● Ability ルールや手順を指示立てて伝える
16	33	Unit 2 Lesson 5 [発表・PR] 地元のおすすめのスポーツや料理を外国人観光客にPRしてみよう	● Goal 地元のおすすめのスポーツや料理の魅力を伝えることができる ● Skill 33 要する、比較する、要する、要する ● Ability 観光客の視点で伝える
23	34	Enjoy Presentation 2 [提案・説明] 防災型プレゼンにチャレンジ！/学校をもっと魅力的な場所に	● Goal 話し手の感情に訴える発表をすることができる ● Skill 34 要する、比較する、要する、要する ● Ability オープニング上の場面を参考にしてみる
冬期講座		12月29日(火)～1月10日(日)	放送時刻は既読番組から繰り込まれるため再放送などを 科目の時間枠を空けて放送します。
1/13	35	Unit 2 Lesson 6 [ライティング] ルールシェアリングをテーマに物語を書こう	● Goal 物語の場面を効果的に伝えることができる ● Skill 35 要する、比較する、要する、要する ● Ability 物語の場面を効果的に伝える

20	36	Unit 2 Lesson 7-1 [ライティング] 外国映画の字幕をテーマに読み手を誘う文章を書こう①	● Goal 内容や構成のまとまりを整理した英文が書ける ● Skill 36 要する、比較する、要する、要する ● Ability 目的や理由、状況を整理する
27	37	Unit 2 Lesson 7-2 [ライティング] 外国映画の字幕をテーマに読み手を誘う文章を書こう②	● Goal 目的や理由、状況に合わせた構成を行うことができる ● Skill 37 要する、比較する、要する、要する ● Ability 目的や理由、状況を整理する
2/ 3	38	The Final Project [Enjoy Interaction] 気になる社会問題や出来事を取り上げて考えや解決策を発信しよう①	● Goal 社会問題についてやり取りをすることができる ● Skill 38 要する、比較する、要する、要する ● Ability 海外のWEBサイトで情報収集をする
10	39	The Final Project [Enjoy Presentation] 気になる社会問題や出来事を取り上げて考えや解決策を発信しよう②	● Goal 社会問題の概要や取り上げた理由を説明できる ● Skill 39 要する、比較する、要する、要する ● Ability 具体的な情報を伝える、効果的に伝える
17	40	The Final Project [Enjoy Discussion] 気になる社会問題や出来事を取り上げて考えや解決策を発信しよう③	● Goal 多様な視点から意見を交換することができる ● Skill 40 要する、比較する、要する、要する ● Ability 議論や対話を通じて生成AIを活用する
24	41	The Final Project [Enjoy Writing] 気になる社会問題や出来事を取り上げて考えや解決策を発信しよう④	● Goal 議論をまとめた文章で考えや解決策を伝えることができる ● Skill 41 要する、比較する、要する、要する ● Ability 英文の構成や語彙に生成AIを活用する
3/ 3	42	「論理・表現I」のまとめ 1年間を振り返り次の学習につなげよう	● Goal 次の1年間の英語学習の指針を伝えることができる ● Skill 42 要する、比較する、要する、要する ● Ability 考えや理由などを述べる
春期講座		3月9日(火)～4月4日(日)	放送時刻は既読番組から繰り込まれるため再放送などを 科目の時間枠を空けて放送します。